

2022年度（2023年3月）卒業アンケート結果について

2024年3月26日

2023年3月卒業生152名に対して133名の回答（87.5%）があった。以下、設問ごとにその分析を付す。回答結果については最後に一覧表を掲載する。

I 専修言語について

回答結果には、現代英語学科が78名、国際コミュニケーション学科が55名となっている。

「あなたが専修言語以外に学んだ言語は何ですか」という設問に対して、延べ129名の学生が回答をしてくれている。複数回答であるので、専修言語以外にひとりで2つ以上の言語を履修している学生がいることがわかる。これは多言語の習得を推奨している本学の理念にも合致するものと言える。また、どのくらいの期間学んでいたのかという設問の回答から、1年次はもちろんのこと、2年次においても学び続けている学生が一定数いることがわかるが、8学期間学び続けている学生数が、全体の1割程度である。全体としては、国際コミュニケーション学科の学生の英語履修状況が思わしくない点に注意が必要であろう。専修言語以外に英語を学習し続ける学生の数を増加させることが今後の課題である。

「あなたが学んだ研究プログラムは何ですか」という設問の回答から言えることは、各プログラムにまんべんなく履修者がいることであろう。しかしながら、主に現代英語学科の学生について言えることなのだが、カリキュラム上、どこかの研究プログラムを集中して履修する必要はないため、このようなばらつきが出ているとも考えられる。次のカリキュラム編成においては、この点を注視しながら改善をしていく必要があるだろう。

II 教育課程について

このカテゴリーには6つの設問が用意されているが、いずれも肯定的な回答が多い。「①そう思う」あるいは「②ある程度そう思う」と回答してくれている学生の割合は約87.7%だった。

しかしながら、「卒業するにあたって、この4年間で十分な語学学習ができ、語学力が身についたと思いますか」という設問に対して、22名の学生が「③あまり思わない」、1名の学生が「④思わない」と回答していることは看過できない。この点については、別途調査を行い、原因を探求する必要がある。

同じく「身についたと思いますか。また、卒業後も、自ら学ぶことのできる力が身につ

たと思いますか」という設問に対して、13名の学生が「③あまり思わない」と回答しているが、これはディプロマ・ポリシーへの理解を早いうちから学生に周知し、理解を促進することによって、学生自らの学修計画を組み立ててもらうことが重要であろう。

さらに、必修科目の「基礎演習Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ」（日本人学生）、「基礎演習Ⅰ/Ⅱ」（留学生）で多くことを学びましたか」という設問に対して、14名が「⑤わからない」と回答している。この点について、「基礎演習」で学ぶ内容への理解を高める工夫が必須である

Ⅲ Gaidai プログラムについて

この年度卒業の学生から選択必修となった Gaidai プログラム科目についての設問であるが、総じて好意的な回答であると言える。

新型コロナウイルスの影響もあり、海外への留学をあきらめた学生も多く、「Gaidai プロジェクト」の履修者数が多いものと思われる。その他の科目についても一定数の履修者がいるが、ボランティアに関連する科目については履修者が少ない。これは、単位認定のためのハードルが他の科目と比較して高いことが原因と思われるので、今後の対応が必要であろう。

「このプログラムによって身に付いたと思うことは何ですか」という設問に対して、上位3つの回答は、「他者と協働する姿勢」「問題解決力」「多角的な思考力」であったが、これは「Gaidai プロジェクト」の履修者が多かったことに起因すると思われる。今後の課題としては、それぞれの科目ごとにどのような力を身に着けることができたかを学生たちが思っているのかを調査し、今後の指導内容にフィードバックしたい。最後に、「このプログラムによって成長できたと思いますか」という設問について、学生のほとんどが「①そう思う」「②ある程度そう思う」と回答してくれているのは、このプログラムを設置した意味があったと言えよう。

Ⅳ 大学生活について

全体的に好意的な回答を寄せてくれていると言える。ただ、他の設問と比較して、「授業内外、課外活動などで教職員との接点を持つ機会はあったと思いますか」「在学中の国際交流はできましたか」の設問について、「③あまり思わない」への回答が多いが、これは新型コロナウイルスの影響もあるだろうが、一定数はその影響がなくてもこのような回答をしている学生がいることも考えられる。これ以外にも全体の1割程度が「③あまり思わない」と回答していることは無視できないであろう。全体としては教職員によるサポートは十分に行われていると言えるのだが、この1割の学生の声をどのような形で拾い上げていくの

かについては今後検討の余地があるだろう。

IV 自由回答について

回答をしてくれたのは56名であり、全体のうち約43.1%であった。回答はほとんど肯定的な内容である。中でも「楽しかった」という回答や、謝辞が多かった。残念ながら新型コロナウイルスの影響のより入学時に期待していたことがすべてできたわけではないが、それでも十分に学生生活を謳歌することができたといった回答も数件見られた。1件だけライブラリーの利用に関する要望があったが、この点については改善可能であるのかを検討していく必要があるだろう。

V 最後に

回答結果を見る限り、本学での学習および生活について、ほとんどの学生が満足をしているものと言える。この点は、教職員による普段の活動が評価されているものと自負する。特に、新型コロナウイルスの影響もあり、十全な学生生活が送れず、授業提供においても学生に不便をかけざるを得なかったが、これをカバーするべく教職員が努力を重ねた結果ということができるだろう。

しかしながら、反省点もないわけではない。上述のとおり、今後の課題として検討すべき点は多々あり、不断の努力が求められるだろう。

以 上

I 専修言語について		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	日本語	回答無	
専修言語		78	3	9	5	34	5	0	
1. あなたが専修言語以外に学んだ言語は何ですか。(複数回答可)		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	日本語	回答無	
		25	8	33	35	24	4	19	
＜その言語を学んだ期間＞	1年春学期のみ	1年春学期～1年秋季学期	1年春学期～2年春学期	1年春学期～2年秋季学期	1年春学期～3年春学期	1年春学期～3年秋季学期	1年春学期～4年春学期	1年春学期～4年秋季学期	
	14	27	15	23	12	7	6	12	
	1年秋季学期のみ	1年秋季学期～2年春学期	1年秋季学期～2年秋季学期	1年秋季学期～3年春学期	1年秋季学期～3年秋季学期	1年秋季学期～4年春学期	1年秋季学期～4年秋季学期		
	0	1	0	0	0	0	0		
	2年春学期のみ	2年春学期～2年秋季学期	2年春学期～3年春学期	2年春学期～3年秋季学期	2年春学期～4年春学期	2年春学期～4年秋季学期			
	3	3	0	0	0	0			
	2年秋季学期のみ	2年秋季学期～3年春学期	2年秋季学期～3年秋季学期	2年秋季学期～4年春学期	2年秋季学期～4年秋季学期				
	1	0	0	0	0				
	3年春学期のみ	3年春学期～3年秋季学期	3年春学期～4年春学期	3年春学期～4年秋季学期					
	1	2	0	0					
3年秋季学期のみ	3年秋季学期～4年春学期	3年秋季学期～4年秋季学期							
0	0	1							
4年春学期のみ	4年春学期～4年秋季学期								
1	0								
4年秋季学期のみ									
0									
1学期間		2学期間	3学期間	4学期間	5学期間	6学期間	7学期間	8学期間	
20		33	16	23	12	7	6	12	
2. あなたが学んだ研究プログラムは何ですか。(複数回答あり)	①多文化国際理解プログラム	②航空/観光ホスピタリティプログラム	③通訳・翻訳プログラム	④国際ビジネスプログラム	⑤英語専門職プログラム	⑥ヨーロッパ研究プログラム	⑦アジア研究プログラム	⑧日本研究プログラム	無回答
	23	26	16	7	23	27	6	9	0

II 教育課程について

	①そう思う	②ある程度そう思う	③あまり思わない	④思わない	⑤わからない	(無回答)
1. 自分の興味や関心に従って、授業科目を履修することができたと思いますか。	67	56	6	0	1	2
2. 卒業するにあたって、この4年間で十分な語学学習ができ、語学力が身についたと思いますか。	36	70	22	1	1	2
3. 社会で必要となる教養や専門知識など身に付けることができたと思いますか。	53	60	14	2	1	2
4. 自らが学びたいという姿勢、主体的に学ぶ力は身についたと思いますか。また、卒業後も、自ら学ぶことのできる力が身についたと思いますか。	47	62	13	0	8	2
5. 必修科目の「基礎演習Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ」(日本人学生)、「基礎演習Ⅰ/Ⅱ」(留学生)で多くことを学びましたか。	48	57	6	2	14	2
6. 選択必修科目の「Gaidaiプロジェクト」科目で多くのことを学びましたか。	74	33	2	1	2	2

Ⅲ Gaidaiプログラムについて

1 あなたが履修した科目は何ですか

①留学事前研究・事後実習	②海外語学/文化研修	③海外自由研究	④ボランティア活動	⑤インターシップ	⑥海外インターンシップ	⑦Gaidaiプロジェクト	⑧卒業研究	複数回答あり
61	21	22	7	37	2	100	10	

2 このプログラムによって身に付いたと思うことは何ですか

①問題解決力	②現代社会についての知識・理解	③多角的な思考力	④課題発見力	⑤物事の本質を捉える力	⑥実践的行動力	⑦他者と協働する姿勢	⑧多様性への理解	⑨自信	⑩主体性
58	33	53	40	10	37	65	40	32	31

3 このプログラムによって成長できたと思いますか。

①そう思う	②ある程度そう思う	③あまり思わない	④思わない	⑤わからない	(無回答)
62	53	2	0	1	38

Ⅳ 大学生活について

	①そう思う	②ある程度そう思う	③あまり思わない	④思わない	⑤わからない	(無回答)
1.学業にやりがいを持って取り組むことができましたか。	67	55	8	0	0	26
2.自分の大学生活(学業以外)は充実していたと思いますか。	75	45	8	0	2	26
3.授業内外、課外活動などで教職員との接点を持つ機会があったと思いますか。	57	46	22	3	3	25
4.在学中の国際交流はできましたか。	54	47	20	5	5	25
5.全体的に大学側のサポートは適切でしたか。	48	63	14	1	5	25

入学から卒業までを振り返りながら、思うことを自由に書いてください。

(自由回答:別紙②)